

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。



山本 光晴

地域包括ケアシステム

問 介護保険制度の改正により、地域包括ケアシステムの構築が急がれている状況である。

地域包括支援センターの機能強化と社会福祉協議会との連携が重要と思う。

答 支援センターの人員配置、協議会との連携は引き続き行っていく。

問 ウォーキングやラジオ体操などの健康づくりについての福祉施策の展開について、各課の連携が必要と思うが。

答 総合的な知恵を出し合っていくよう、今後検討していきたい。



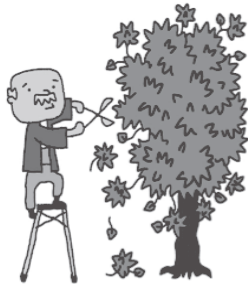
問 介護予防・認知症サポーター生活支援のためのボランティアとかかわりにおいて、有償、ボランティアポイント制度などの活用による住民の参加しやすい組織づくりはどうか。

答 シルバー人材センターの活用と合わせて検討する。

ボランティアポイントカード

ポイント点数により商品などの特典あり。

神奈川県で実施中



一般質問



福中 満

能勢町のナラ枯れ被害

問 能勢町においても近年ナラ枯れ被害が報告されているが、その実態と対策を問う。

答 大阪府では平成21年度に初めてその被害が確認され、箕面市や池田市等周辺地域でも被害報告があった。能勢町では平成25年度に初めて宿野地区で被害が確認され、町として様々な方面から調査し実態把握に努めている。また平成25年度には宿野地区、26年度には三草山において、合計38本の被害木の伐倒及び薬剤燻蒸を実施した。

今後の対策としては、森林病害虫等の防除事業と合わせて、里山再生事業として里山管理を進めていきたい。

一、能勢町のナラ枯れ被害
二、新学校の植栽計画



ナラ枯れは高樹齢の木に被害が多い

新学校の植栽計画

問 新学校の植栽計画において、能勢の豊かな自然環境を生かした計画を工夫されているか。

答 より良い教育環境をつくる上で植栽計画は極めて重要と考える。学習に必要な不可欠な樹木・植物、鳥や昆虫が好むもの等も必要だ。シンボルリーとしてケヤキやエドヒガンを、またササユリや実のなる木、花の咲く木等四季折々に楽しめ

るような特性を考え配置を計画している。また学校内の植栽と関連付け、周辺の学びの丘ではソメイヨシノ・ヤマツツジ・ヤマボウシなどの花の咲く木、クスギ・クリなどの実のなる木、ハンノキ・コナラなど蝶の食草となる木等を計画している。これには能勢に精通された専門家から助言・指導いただきながら進めている。



野間の大ケヤキ